

## W T O 閣僚会議：ロシアによるウクライナ侵略に関する共同声明

2 0 2 2 年 6 月 1 7 日

以下に署名した我々W T O メンバーの閣僚は、ウクライナの人々と連帯している。第 1 2 回W T O 閣僚会議において、我々は、差し迫った世界的な課題に対する多数国間での解決策を見いだすことに従事し、世界中で地域社会に提供するために交渉に従事した。これは、ロシアとの貿易関係の正常化を意味するものではない。

我々は、ベラルーシに支援されたロシア連邦のウクライナに対する侵略を、最も強い言葉で非難する。ベラルーシのW T O 加盟は 2 0 2 0 年に停止され、我々はその加盟を更に検討しない。我々は揺らぐことなくウクライナを支持し、ウクライナが経済と社会を再建することを支援するために貿易を活用する方法を見出すべく共に取り組む。1 5 週間以上にわたり容赦なく続くロシア連邦の行動は、民主的な主権国家に対するいわれのない計画的な攻撃である。また、国連憲章を含む国際法の重大な違反であり、国際平和と安全の基本原則を損なうものである。これらの行動は、ロシア連邦が国際的な機関、規律および規範を尊重していないことを示している。

ロシアによるウクライナの民間インフラへの無差別攻撃とウクライナの港湾封鎖は、複数の分野のサプライチェーンに影響を及ぼし、既存の問題を悪化させ、1 0 0 か国以上の 1 7 億人が現在深刻な食料、エネルギー、商品の供給問題や価格上昇に直面している。

我々は共に、ロシア連邦がウクライナに対する軍事侵略を直ちに停止し、部隊を即座に撤退させなければならないと強く主張する。我々は、ロシア連邦が責任を問われるべきであり、世界平和、安全、国際法を損なうその行動を停止しなければならないと確信している。

我々は、W T O 加盟国として、我々の本質的な安全保障上の利益を守るために我々がそれぞれに必要と考える行動をとり続け、ロシア連邦に対し、国際の平和と安全を回復し維持する責任を果たすことが急務であることを引き続き強く認識させる。

アルバニア、オーストラリア、カナダ、コスタリカ、E U、アイスランド、日本、韓国、モルドバ、モンテネグロ、ニュージーランド、北マケドニア、ノルウェー、台湾・澎湖諸島・金門・馬祖独立関税地域、ウクライナ、英国、米国